

仙台はじまりの地

青葉山エリアの 未来の地図



歴史、文化、自然等の資源が集積する青葉山エリア。このエリアの魅力を磨き上げる、さまざまな取り組みを紹介します。

音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点の複合施設整備について、2回にわたりお知らせします。初回は音楽ホールについて紹介します。

市民と共に育んできた音楽文化

市では、「**楽都仙台**」を掲げ、「仙台国際音楽コンクール」や「仙台クラシックフェスティバル」の開催をはじめとした音楽文化振興に取り組んできました。さらに、仙台の秋の風物詩「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」や、障害の有無にかかわらず音楽を楽しむことを目指した「とっておいの音楽祭」など、市民主体の音楽イベントも盛んに行われ、官民双方による充実した音楽文化は市の魅力の一つとなっております。



▲仙台国際音楽コンクール
は市の魅力の一つとなっております。
東日本大震災からの復興過程でも、音楽は大きな役割を果たしました。仙台フィルハーモニー管弦楽団と市

民有志が設立した「音楽の力による復興センター」(※)は、音楽で被災地を元気づけようと、各地で復興コンサートを行ってきました。そのほか、仙台クラシックフェスティバルなどの音楽イベントも休止することなく開催され、人々の心を癒やし、勇気づける音楽の力が広く再認識されました。

これをきっかけに、経済界、地元音楽団体を中心に、大規模な音楽ホールの整備を望む声が高まりました。平成29年11月には「仙台市音楽ホール検討懇話会」を発足。平成31年3月に、音楽ホール整備の検討を進める上で必要となる視点や考え方をまとめた報告書が提出されました。

誰もが気軽に集える拠点に

昨年1月に、音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点青葉山交流広場に複合整備する方針を決定。「国際センター」駅北地区複合施設基本構想に関する懇話会」を設置し、複合施設としての理念や事業の在り方などについて、検討を進めています。

楽都仙台豆知識

「音楽の力による復興センター・東北」が、東日本大震災の発災から間もない平成23年3月26日から演奏活動を続けてきた「復興コンサート」。避難所や仮設住宅、集会所などにプロの音楽家が出向き、さまざまなジャンルの音楽を演奏しています。令和4年3月には公演1,000回を達成。今後も皆さんに音楽を届けていきます。



▲復興コンサートの様子

音楽ホールは、「文化芸術の総合拠点」として、音楽だけにとどまらず、さまざまな文化芸術の公演・活動が可能な施設として整備する方針です。メインとなる大ホールは、2千席規模を想定し、クラシックのコンサートやオペラ、バレエの上演などをはじめとした、生の音源に対する音響を重視します。また、誰もが日常的に集い、憩い、交流できる場となるよう、ワークショップルームや交流スペースなども充実させ、市民の皆さんの文化活動を総合的に支援していきます。

今後、シンポジウムや市民説明会などを開催し、市民の皆さんの意見も踏まえながら、基本構想の策定に向けて議論を重ねていきます。

※現在は「音楽の力による復興センター」東北

おうち時間に親子でクッキング!

せんだいレシピ帖

問健康政策課
☎214・3894

はっと汁



「はっと」は県北一帯で食べられている小麦粉を使った郷土料理です。汁物にした「はっと汁」のほか、あんこなどもあることもあります。

材料(4人分)

小麦粉	…60グラム
絹豆腐	…50グラム
鶏もも肉	…80グラム
☆大根・白菜	…各120グラム
☆ニンジン・ゴボウ	…各40グラム
☆油揚げ	…20グラム
マイタケ	…80グラム
長ネギ	…40グラム
だし汁	…800cc
酒	…大さじ1
しょうゆ	…大さじ1と1/3
塩	…ひとつまみ

作り方

- ①小麦粉と絹豆腐を混ぜ合わせ、耳たぶより少し軟らかめに練って生地を作る。ぬれ布巾をかけて30分程度寝かす
- ②鍋に湯を沸かし、①を3~4cm大にできるだけ薄く延ばしてちぎり、鍋に入れる。浮いてきたらざるにあげる
- ③鶏肉はそぎ切り、大根とニンジンは3cmの短冊切り、白菜は1~2cm幅のざく切りにする。ゴボウはざさがきにし、水にさらした後に水気を切る。マイタケは小房に分ける。油揚げは3cmの長さに細切り、長ネギは斜め薄切りにする
- ④鍋にだし汁と☆を入れて煮る。野菜が軟らかくなったら鶏肉、マイタケを入れて火を通し、酒、しょうゆ、塩を加える
- ⑤④に②を重ならないように入れて1~2分煮る。長ネギを加えて火を止める



はっとの生地をこねる、延ばしてちぎる、マイタケを小房に分ける作業ができます